

京王線沿線まちづくり通信

発行：2010年2月 世田谷区交通政策担当部鉄道立体・街づくり調整担当課

2面▶①京王線都市計画素案の概要

②構造形式の検討内容

3面▶③説明会における主な質疑応答 ↗

3面▶④環境影響評価方法書の縦覧と意見書の提出について

4面▶⑤沿線街づくりトピックス

⑥沿線歩いて発見（桜上水駅）



京王線（笹塚駅～つつじヶ丘駅間）の連続立体交差化・複々線化および関連側道の都市計画素案等の説明会を11月11日（水）から20日（金）にかけて、8会場で開催し、延べ約3,000名の皆さんにご参加いただきました。

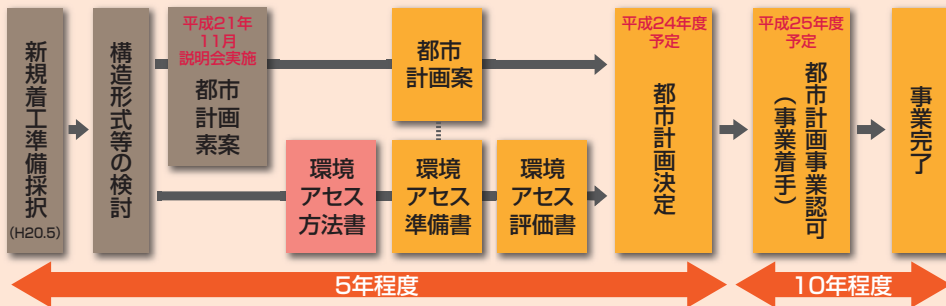
説明会では、東京都などが鉄道の構造形式の検討から最適案の選定までの過程を説明するとともに、代田橋駅～千歳烏山駅各駅ごとの、将来構想として駅前広場やアクセス道路（接続する道路）について、区のお考え※をお示しました。

参加者の皆さんからは、鉄道の構造形式、複々線の運行計画、環境への配慮、事業スケジュール、まちづくりなどに関する質問や意見が寄せられました。今回の通信では、この説明会の内容を中心にお知らせします。

これからも引き続き、皆さんとともに沿線まちづくりの検討を進めていきます。ご理解、ご協力をよろしくお願い致します。

※京王線沿線まちづくり通信特集号（11月発行）参照。通信は、世田谷区のホームページでご覧いただけます。

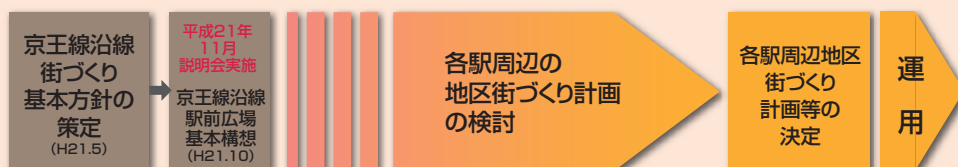
● 連続立体交差事業の概ねの流れ（東京都）



● 都市計画素案説明会の日程および会場

- 11月11日（水） 松原小学校
- 11月12日（木） 上北沢小学校
- 11月13日（金） 烏山北小学校
- 11月16日（月） 杉並区立永福南小学校
- 11月17日（火） 芦花中学校
- 11月18日（水） 松沢中学校
- 11月19日（木） 東大原小学校
- 11月20日（金） 調布市立第八中学校

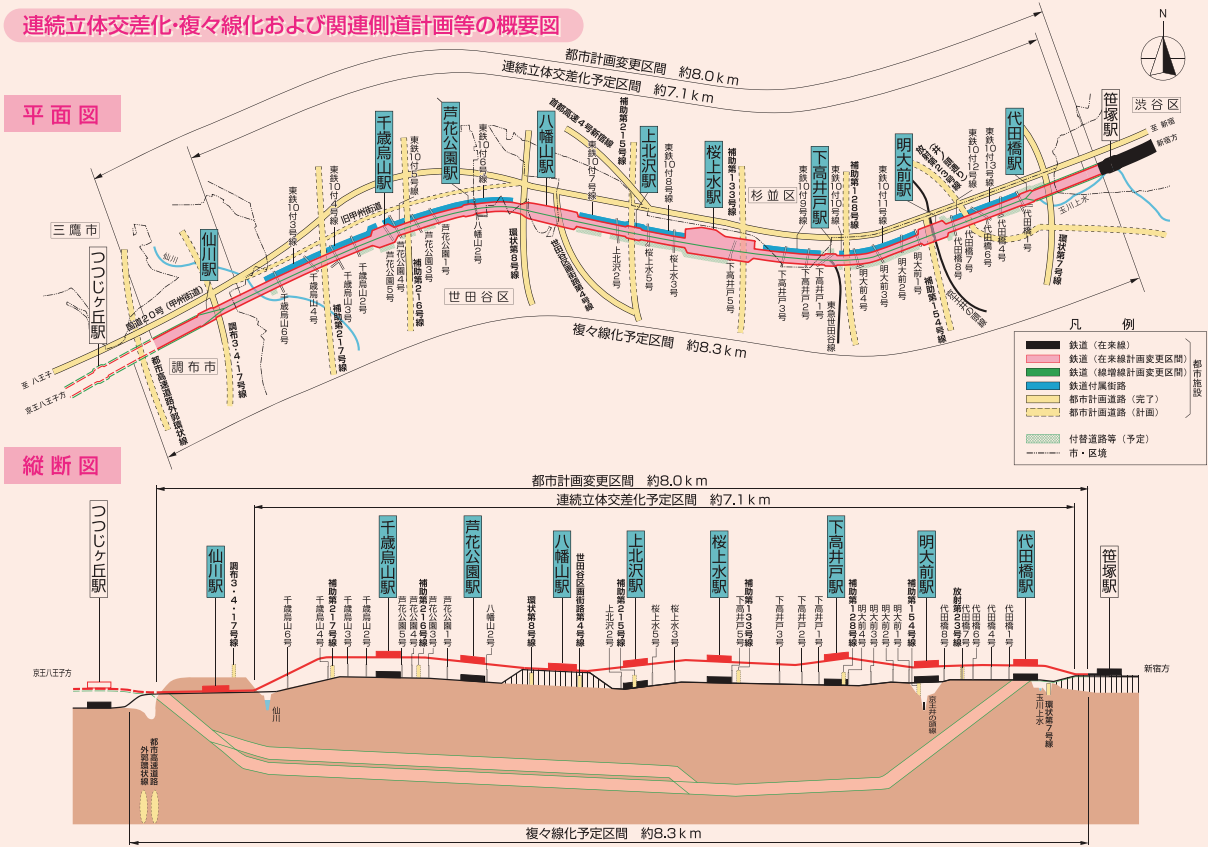
● 地区街づくりの概ねの流れ（世田谷区）



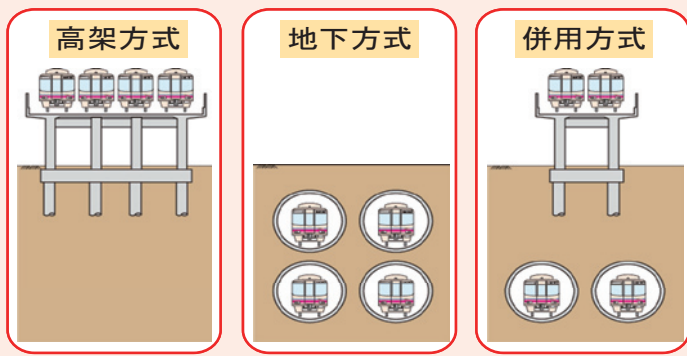
説明会の様子（松沢中学校）

① 京王線都市計画素案の概要

連続立体交差化・複々線化および関連側道計画等の概要図



② 構造形式の比較検討内容



構造形式については、左の図に示したような高架方式、地下方式、在来線を高架化し複々線化のために新たに設置する線増線を地下化する併用方式の3案を検討しました。

これらについて、鉄道周辺の地形や既存線路の縦断勾配などの地形的条件、除却する踏切の数などの計画的条件、事業費などの事業的条件の3条件で比較・検討したところ、高架方式と併用方式が同等の評価となり、さらに、都市計画として新たに定める面積を比較した結果、拡幅する面積の少ないことなどから、総合的に判断し、併用方式を最適案として選定しました。

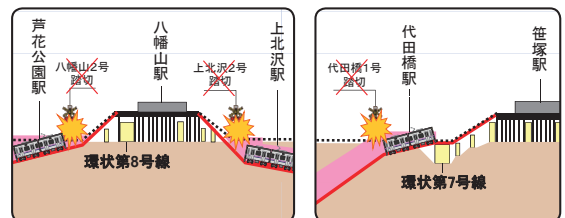
なお、笹塚駅と八幡山駅は、適切に維持管理され、耐震補強も行われていることから、既存施設の有効活用を図ることとしました。

■ 比較設計上の評価

最適案

	高架方式	地下方式	併用方式
地形的条件 ・鉄道周辺の地形 ・既存線路の縦断勾配など	○ 可能	○ 可能	○ 可能
計画的条件 ・踏切の除却数など	○ 25箇所 すべて除却	※ △ 3箇所 交差道路分断	○ 25箇所 すべて除却
事業的条件 ・事業費や事業期間など	○ 約2200億円	△ 約3000億円	○ 約2200億円
その他 都市計画区域の拡幅面積	△ 面積が大きい		○ 面積が小さい

※地下方式は、高架方式による複々線化が既に完成している笹塚駅や八幡山駅から地下に入る区間で、3箇所の交差道路の分断が生じます。



3 説明会における主な質疑応答

Q1 この説明会の位置づけはどのようになっているのか？

A1

都市計画素案説明会は、都市計画案を作成するにあたり、あらかじめ地域の皆様に意見を伺うために任意に開催しているもので、都市計画法の位置づけはありません。今後、この説明会でいただいたご意見等を参考にして都市計画案を作成します。

Q2 連続立体交差事業の必要性についてどのように考えているのか？

A2

京王線の笹塚駅から仙川駅間には、25箇所の踏切があり、その全てがピーク時1時間あたり40分以上閉まっている、いわゆる「開かずの踏切」となっており、交通渋滞や地域分断など様々な問題を抱えています。区としても、踏切解消が緊急の課題と認識しており、都の検討を受け円滑に事業を進めていくべきと考えています。

Q3 補助216号線の整備は、どのように位置づけられ、スケジュールはどのようになっているのか？

A3

区では、「世田谷区道路整備方針の調整計画」を平成21年5月に策定し、平成23年度までの3カ年に事業化または事業化に向けた準備に着手すべき路線として、この付近の補助216号線を新たな優先整備路線に位置づけました。今後、連続立体交差事業の進捗を踏まえ、事業化に向けた説明会の開催などの準備に取り組んでいく予定です。

Q4 騒音などの生活環境への影響については考慮しないのですか？

A4

環境への影響については、今後、環境影響評価手続きの中で、事業の実施が及ぼす影響について事前に調査、予測及び評価を行い、必要な対策を講じていきます。

Q5 地下の線増線には駅ができないのですか？

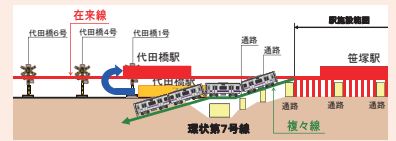
A5

線増線については、多摩地域からの速達性の向上や混雑の緩和を図ることを目的としているため、途中に駅を設ける計画はありません。なお、高架化する在来線については、千歳烏山駅と明大前駅に、現在の桜上水のように追い越しや乗換ができるよう待避線を設けます。また、複々線化により利用者の分散が図られ、在来線についても混雑が緩和されます。

Q6 地下方式では交差道路の分断が生じるのに、併用方式の複々線は、なぜ地下化できるのですか？

A6

京王電鉄の技術基準により、最急勾配は3.5%（10mで35cm上下する勾配）となりますが、駅部では1%以内にする必要があります。



地下方式の場合には、代田橋駅の勾配を1%以内になければならないため、代田橋1号踏切が支障となり、交差道路の分断が生じます。一方、併用方式では、在来線を高架化し代田橋駅を設置するため、線増線が地下に潜る箇所、最急勾配の3.5%で潜りこむことが可能です。

Q7 笹塚や八幡山駅も含めて全線地下化すれば交差道路の分断は生じないのでは？

A7

笹塚駅や八幡山駅は、適切に維持管理されており、耐震補強もされていることから、できる限り現在の高架橋を利用することが、適当であると考えています。仮に笹塚駅、八幡山駅を含めて全線を地下化する場合、これらの駅を支え、列車の運行を確保しながらの地下駅の新設及び高架駅の撤去工事となります。このため、大規模な仮設工事が必要となり、例えば、八幡山駅を地下化するために約350億円の費用が見込まれます。

Q8 今後も住民が意見を言える機会はあるのですか？

A8

今後、都市計画案や環境影響評価準備書についての説明会を開催するとともに、その案に対して皆様からご意見をうかがっていきます。都市計画案や環境影響評価準備書については、一定期間の縦覧を行うとともに、意見書の提出ができます。

Q9 区が進める駅前広場基本構想は、住民の意見を考慮しないのですか？

A9

「駅前広場の基本構想」は将来構想としての各駅の駅前広場やアクセス道路についての「区の考え方」を示したものです。駅前広場等のまちづくりに関する具体的な計画については、今後、街づくり協議会からの提案や地域の皆様のご意見を伺いながら作成していきます。

Q10 京王線連続立体交差事業のスケジュールはどのように考えているのですか？

A10

この素案説明会の後、都市計画手続きを進め、平成24年度の都市計画決定、平成25年度の都市計画事業認可及び事業着手を目指しています。その後、約10年間で連続立体交差化を完了させることを目標としています。

4 環境影響評価方法書の縦覧と意見書の提出について

環境影響評価方法書の縦覧・閲覧について

- 事業名 京王電鉄京王線（笹塚駅～つつじヶ丘駅間）連続立体交差化及び複々線化事業
- 期間 2月8日(月)～3月8日(月)（土・日祝日を除く 図書館は月曜を除く）
- 時間 午前9時00分～午後5時00分
- 縦覧場所 東京都都市整備局都市づくり政策部都市計画課（東京都庁第二本庁舎21階北側）
世田谷区環境総合対策室環境保全課
- 閲覧場所 鉄道立体・街づくり調整担当課、北沢・烏山総合支所街づくり課、地域振興課、北沢・烏山出張所、新代田・松原・松沢・上北沢・上祖師谷まちづくりセンター、烏山・上北沢・粕谷図書館
- 問合せ先 世田谷区環境総合対策室環境保全課（電話）5432-2276（FAX）5432-3062



意見書の提出について

- 提出方法 方法書の名称、住所、氏名、環境保全に関する意見を明記し、下記提出先に郵送または持参をお願いします。
- 提出期間 2月8日(月)～3月23日(火) ※当日消印有効
- 提出先 東京都都市整備局都市づくり政策部都市計画課（〒163-8001 新宿区西新宿2-8-1）
- 問合せ先 東京都都市整備局都市基盤部交通企画課（電話）5388-3284（FAX）5388-1354

5 沿線街づくりトピックス

新たに街づくり協議会が設立されました

京王線沿線各駅周辺では、地元の商店会や町会が中心となって、これまで、下高井戸（H18.10）、明大前（H18.11）、千歳烏山（H19.9）、桜上水（H20.6）の各駅周辺地区で街づくり協議会が設立され、街づくりの検討が進められております。この度、2地区の駅周辺で協議会が設立されたので報告します。

●上北沢駅周辺地区まちづくり協議会（H21.7 設立）

【目的】 歴史的に形成された優れた特性を受け継ぎ、次世代にも安心して住み続けられるまちを育てていくことを目指して、快適に暮らせる住環境や親しみと賑わいがある商業環境の実現。（会員数約 80 名）
詳しくは、世田谷区烏山総合支所街づくり課（TEL：03-3326-9618）

●芦花公園駅周辺地区街づくり協議会（H21.8 設立）

【目的】 安全・安心で潤いのある街としていくために、地区の特性を活かした街づくりの推進。（会員数約 70 名）
詳しくは、世田谷区烏山総合支所街づくり課（TEL：03-3326-9618）
杉並区都市整備部まちづくり推進課（TEL：03-3312-2111 内線 3373）

桜上水駅周辺地区街づくり協議会と日本大学文理学部がまちづくりで連携

12月13日（日）「桜上水 新/再発見!」プロジェクト」と題し、学生と一緒に区民等 25 名が参加して、街歩きを含むワークショップが日大文理学部で行われました。学生の新しい視点や都市社会学からの街へのアプローチの方法に参加者は駅周辺街づくりの検討に向けた、たくさんのヒントやアイデアを掴めたようです。今後も引き続き民学官が連携した街づくりを進めていく予定です。このプロジェクトに関しては、日本大学文理学部社会学科の後藤範章教授までお問い合わせください。（Eメール ngotoh@chs.nihon-u.ac.jp）



ワークショップの様子



街歩きの様子

6 沿線歩いて発見（桜上水駅）

今回は桜上水駅周辺を歩いてみました。

桜上水という町名ですが、京王線の駅名が昭和 12 年に「京王車庫前」から駅北側に流れる玉川上水★の桜並木にちなみ、「桜上水」と付けられたことが由来となったそうです。今は、桜上水団地★、日本大学文理学部★など桜の名所が多い地域となっています。

さて、桜上水駅は、平成 20 年にバリアフリー化され、エレベーターや自由通路を備えた橋上駅舎に変わりました。平成 20 年 9 月、新しい駅舎のオープンを記念して、地元商店街と町会、自治会等が協力して秋桜（コスモス）祭りが盛大に開催されました。

駅東側には、朝方のピーク時間帯には 1 時間に 50 分以上閉まっている踏切があります。その踏切の道路は、砧浄水場から区内を南北に真っ直ぐ貫通する都道 428 号線高円寺砧浄水場線（通称：荒玉水道道路★）です。入り組んだ道が多い世田谷では、珍しい直線道路（延長約 5 km）です。地下に直径約 1.1 m の水道管が埋設されているため、4t 以上の車両を通行禁止とし大切な水道管を守っています。



左の絵は、沿線にお住まいの方が描いた昭和 25 年～ 28 年頃の駅南側を中心としたスケッチです。表紙の勝利八幡神社★の手前に三井牧場の牛やサイロが見えます。現在は、桜上水団地★が建っています。

大正 3 年、三井財閥が一面の茶畑を買収し、三井牧場として東京周辺に住む三井一族 100 人ほどの牛乳供給を始めました。このころ、京王軌道は電車事業だけではなく電力事業も行っていました。電柱と電線を地元負担すれば電気がひかれ、京王の職員が電気代の集金に歩いてきたとのこと。牧場支★という電柱の名称が存在することが、当時の名残ともなっています。

皆さんも桜上水駅の周辺を散策して、まちの新しい地域資源を発見してみてください。

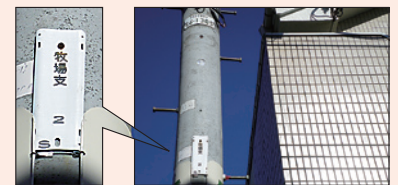


桜上水電車車庫（駅北側）

写真提供：桜上水駅周辺地区街づくり協議会 広報部



日本大学文理学部★（日大通り）の桜並木



牧場支というプレートのついた電柱★

